適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量 薬量(mℓ)又は希釈倍数	10アール当り使用量 希釈水量又は散布液量(ℓ)	使用方法
日本芝	－	畑地一年生雑草	秋～春期(芝発芽前)	1,000～1,250	200～300	散布(茎葉兼土壌処理)
			芝生育期(雑草生育初期)	400～600		
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生雑草	雑草生育期	1,000～2,000	100～200	植栽地を除く樹木等の周辺地に散布(茎葉処理)
		多年生広葉雑草		2,000～3,000		
		多年生イネ科雑草		3,000～5,000		
		クズ		5,000		
すぎ(下刈り)	－	ススキ	6月	20倍	300mℓ/株径30cmの株	局所散布(茎葉処理)
		アレチノギク、カラムシ、シシウド等の大型雑草	雑草発生期		60	散布(茎葉処理)
		クズ	6～7月	10倍	50	

総使用回数：本剤3回以内、アシュラム剤3回以内

最終有効年月(西暦下2桁) **上部記載**

- **ラベルをよく読む**
- **記載以外には使用しない**
- **小児の手の届く所には置かない**
- **使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる**
- **空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる**

効果・薬害等の注意

○日本芝に使用する場合は、下記の項目に注意する
- 生育期(雑草発生初期)に使用する場合、夏季高温時及び芽立ち期の散布は一時的に黄化を生ずる恐れがあるのでさける
- メヒシバ、スズメノカタビラには効果を安定させるため、4～5葉期までに使用する

○雑草の発生程度により許容薬量内で使用量を増減する
○吸収・移行性の高い薬剤であるが、局所散布及び群生地散布の場合には必要に応じて展着剤を加用し、よく付着するように十分散布する
○局所散布または群生地散布は所定薬量内で雑草の茎葉部をねらって散布する
○砂土での土壌処理はさける(発芽前雑草に対する残効性)
○カヤツリグサ科雑草に対して効果が劣るので、カヤツリグサ科雑草優占圃場での使用はさける
○遅効性で、効果の現れるまでにかなりの時間を要し、散布時期が遅れると効果が劣るので、時期を失しないように散布する
○造林地の下刈りに使用する場合は、下記の項目に注意する
- すぎになるべくかからないように注意して散布する(薬害)
- 農耕地の近くで散布する場合はなるべく風の弱い日に散布するなど薬液を飛散させないように十分注意する(薬害)

○公園、庭園等に使用する場合、特に以下のことに注意する
- 石を汚染することがあるので、霊園、墓地等では使用しない
- 散布薬液の飛散あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分注意して散布する
- 水源池に飛散・流入しないよう十分注意する
- 激しい降雨の予想される場合は使用をさける

安全使用上の注意

○散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないように適切に処理する

○散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用し、作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをする
○眼に入らないよう注意。眼に入った場合は直ちに水洗する(弱い刺激性)
○公園、堤とう等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する

保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する

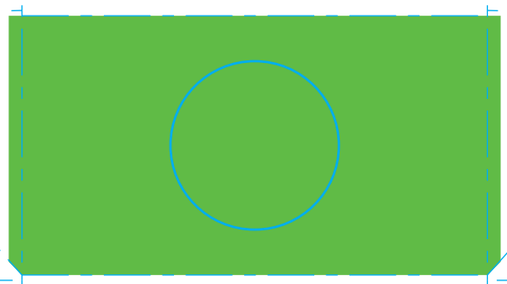
- ●有効年月内に使用する
- ●体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取り扱い及び作業をしない

製造場　ユーピーエル リミテッド
ハルディア工場
インド ウエストベンガル ミドナポール ピーオー ハルディア デューガチャック

小　分　ハヤシ アグロサイエンス株式会社
製造場　赤穂工場 兵庫県赤穂市加里屋1125

Bayer

JP58616420C
C1





バイエル
アージラン®
液剤

除草剤

芝用

農林水産省登録 第21090号
アシュラム液剤

性状　黄褐色澄明水溶性液体
成分　アシュラム……37.0%
〔N'-メトキシカルボニルスルファニルアミドナトリウム〕
水及び界面活性剤……63.0%

®はユーピーエルの登録商標 第309309号

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部
本社　東京都千代田区丸の内1-6-5
お客様相談室　0120-575-078
(9:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日をのぞく)

1ℓ入



A B 1 2 3 4 5 6 7 8